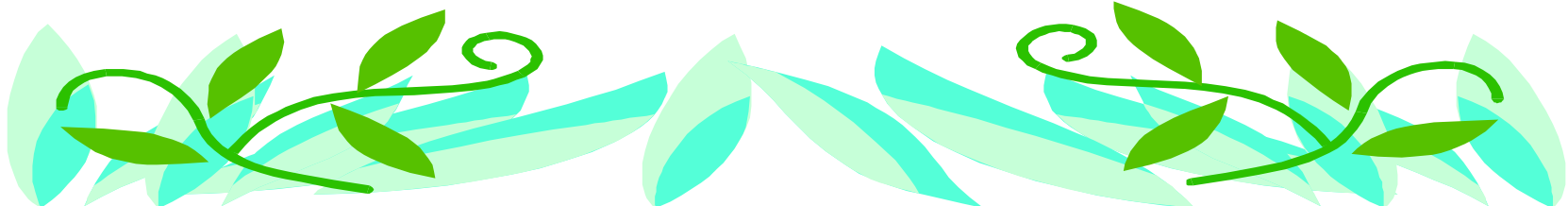




# 第3回 双葉町復興推進委員会資料

～ 双葉町外拠点(復興公営住宅)整備と  
生活再建に向けた取組 ～



(1) 町民のきずな・コミュニティを維持する拠点として、復興公営住宅を中心とする「双葉町外拠点」を活用していくためには、どのような施設、事業が必要か。

<検討項目例>

- ・町民が住みやすい復興公営住宅の整備と、公営住宅に付随するサービスの提供の在り方
- ・復興公営住宅に住まない方も含めた、町民のコミュニティ(つどい)の場となる仕組み

(2) 町民一人一人の生活再建への支援として、どのような取組が行政には必要か。

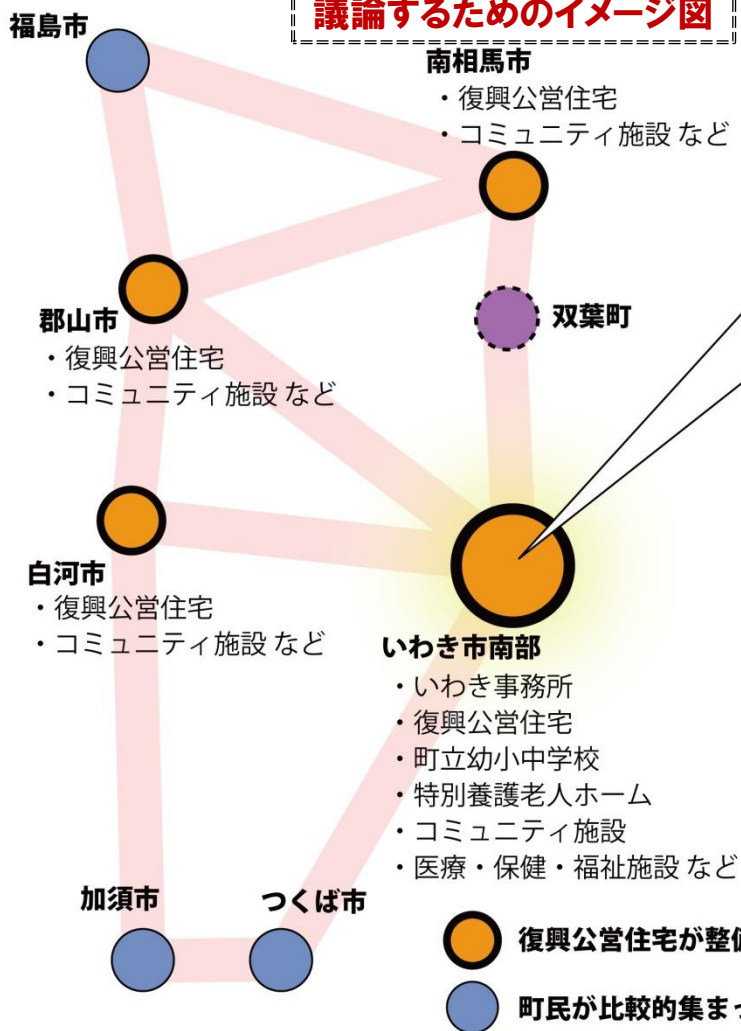
<生活再建支援策の項目>

- ①住居の確保
- ②保健・医療・福祉体制の確保
- ③教育環境の確保
- ④雇用の確保・事業再開支援

# (1) 「双葉町外拠点」(復興公営住宅整備)の全体イメージ(案)

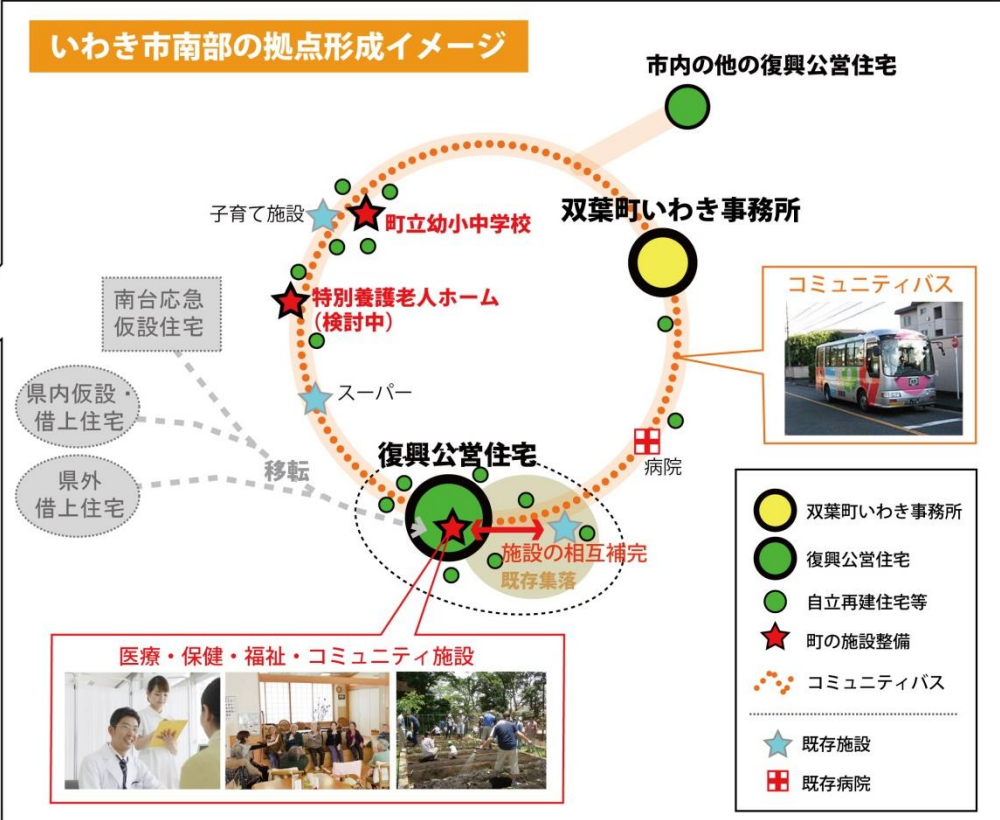
双葉町民が集まって居住できる県営の復興公営住宅の整備を、いわき市、郡山市、南相馬市、白河市に求めます。この復興公営住宅を「双葉町外拠点」として、町民のコミュニティの拠点としても機能するようにします。特に、いわき市南部には、役場事務所が所在し、町立幼小中学校の再開も予定されていることから、いわき市南部の復興公営住宅を「双葉町外拠点」の中心としたいと考えています。

## 議論するためのイメージ図



あくまでイメージで今後の調整によって変わりうるものです

## いわき市南部の拠点形成イメージ



復興まちづくり計画(第一次)では、復興公営住宅の要請先を、いわき市、郡山市、南相馬市としていましたが、今回の住民意向調査の結果から白河市にも復興公営住宅の要望が相当程度みられることから、白河市を整備要望先に追加します。

福島市、加須市、つくば市には、一定の町民が集まっていることから、町民の集い(コミュニティ)の場の設置を検討します

# いわき市南部における復興公営住宅を核とした町外拠点形成のイメージ(案)

県が整備する復興公営住宅を核として町外拠点を形成します。町民の意向を踏まえ、住宅のみならず、診療所、高齢者福祉施設や店舗、集会所等の交流施設、ふれあい農園、お祭り広場等の併設などを県に要望するとともに、いわき市等と調整していきます。

**現在、福島県が用地選定を行っていることから、用地が確定次第、町民意向を踏まえながら要望の具体化を図ります。**

町民ニーズに応じた  
多様な住宅の供給  
(戸建住宅、長屋建  
住宅など)

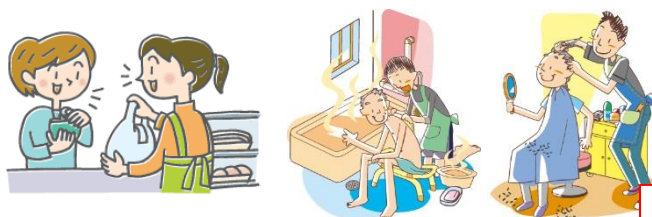
宿泊機能も備え  
た全国の町民が  
集まれる集会施  
設の整備

介助や介護が必要な高  
齢者に配慮した住宅の  
整備



町民全体を対象と  
した、ダルマ市な  
ど、お祭り・イベ  
ントの場となる多  
目的広場の整備

公営住宅居住者だけでなく公  
営住宅以外の町民も対象とし  
た、サービス等の高齢者  
福祉施設や診療所、店舗、理  
髪店等の併設



町民が農と親し  
めるふれあい農  
園の整備

あくまでイメージで今後の調整によって変わらうるものです

# いわき市南部における復興公営住宅に併設する 付帯施設・サービスとして考えられる例(案)

テーマ	ハード(施設)として考えられるもの	ソフト(事業)として考えられるもの
<b>コミュニティ形成 (地域交流)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の支え合い</li> <li>既存コミュニティの継承</li> <li>地域ぐるみの共助の仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊機能を持った集会所／地域交流施設</li> <li>多目的広場（ダルマ市などのお祭り・イベント広場）</li> <li>地域食堂</li> <li>喫茶コーナー</li> <li>ボランティア詰め所</li> <li>遊び場</li> <li>ふれあい農園</li> <li>共同浴場 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多世代交流</li> <li>健康相談・指導</li> <li>ダルマ市等の歳時記イベントの開催</li> <li>町内会・自治会活動</li> <li>周辺商店街と連携したイベントの開催 など</li> </ul>
<b>子育て支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが育つ安全な環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キッズスペース</li> <li>放課後学童クラブ など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児相談</li> <li>ふれあいイベント</li> <li>子ども教室</li> </ul>
子育て支援については、町立幼小中学校との分担も考慮して検討します		
<b>高齢者支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の心のケア</li> <li>高齢者の介護・福祉の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流スペース</li> <li>小規模多機能型居宅介護施設</li> <li>デイサービス施設</li> <li>訪問看護ステーション など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の見守り、生活相談・支援</li> <li>配食サービス など</li> </ul>
<b>生活支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>買物や医療などの日常的生活支援</li> <li>生業・雇用への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療所</li> <li>店舗（小売、理髪店 など）</li> <li>その他、生活利便施設など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療</li> <li>移動販売 など</li> </ul>

今後、要望・調整のためのイメージですので、このすべての施設・サービスが実現できるとは限りません

## (2) 町民の生活再建への支援として、どのような取組が行政には必要か。

### 1. 住居の確保

#### 《これまでの主な取組》

復興公営住宅の早期整備に加えて、町民のニーズに対応した安定した住居の確保に向けて、国等への要望活動を継続実施

● 仮設・借上住宅の供与期間の延長と住替制限の緩和を要請

● 避難先で住宅取得が可能となるように賠償基準の見直しの要求

→6月に町長が国の原子力損害賠償紛争審査会に対して見直しを強く要求した結果、現在、審査会で、築48年以上を経過した住宅は、これまで新築時点相当の2割とされていた賠償基準を、新築時点相当の6～8割に引き上げる方向で議論が進められています

● 自宅再建者への支援措置の拡充・継続の要請

(現在の支援策)

➤ 二重ローン対策 (福島県)

・ 既存の住宅ローンの5年間分の利子相当額を補助

➤ 融資制度 ( (独) 住宅金融支援機構)

・ り災証明書が交付されなくても、避難指示区域内に居住していたことが確認できた場合、災害復興住宅融資を活用

➤ 税制優遇措置

・ 帰還困難区域に所在する家屋・土地の代替資産特例等の適用

➤ 住まいの復興給付金 (復興庁)

・ 来年4月の消費税増税に際して、被災者の住宅再取得等に係る消費税の負担増加に対応して国から給付金を支給

#### 《ご議論頂きたい内容》

○ 今後の住居の確保に関して不安なこと、問題になっていることは何ですか。

○ 住居の確保に向けて、行政に期待すること、行政に必要な取組は何ですか。

## (2) 町民の生活再建への支援として、どのような取組が行政には必要か。

### 2. 保健・医療・福祉体制の確保

#### 《これまでの主な取組》

##### ○放射線関連検査の受診体制の整備や検査体制の拡充

- ▶町単独で放射線関連の尿・甲状腺・WBC検査を実施
- ▶特定健診やがん検診、県民健康診査等各種検診が総合的に受診できる体制づくりの整備

##### ○放射線の健康への影響等に関する知識の普及

- ▶双葉町放射線アドバイザーによる内部被ばくについての講演会の開催

##### ○避難先で適切な保健・医療・福祉サービスを受けられる体制整備

- ▶母子健康手帳交付・妊婦健康診査・乳幼児健康診査・予防接種事業等が避難先で受けられることのホームページへの掲載、周知  
町から保護者に対して定期的に往復ハガキにより実施状況を確認
- ▶「健康管理システム」を導入し、町民の健康診査受診状況等の集約管理
- ▶受入自治体（いわき市、加須市）との打ち合わせの実施
- ▶仮設住宅入居者や借上げ住宅入居者に保健師等が訪問し血圧測定や健康相談を実施、健康サロンを開催

#### 《ご議論頂きたい内容》

- 今後の保健・医療・福祉に関して不安なこと、問題になっていることは何ですか。
- 保健・医療・福祉に関して、行政に期待すること、行政が必要な取組は何ですか。

## (2) 町民の生活再建への支援として、どのような取組が行政には必要か。

### 3. 教育環境の確保

#### 《これまでの主な取組》

##### ○学校再開

- ▶平成26年4月1日、双葉町立の学校（幼稚園、小学校、中学校）の再開  
場所：いわき市錦町御宝殿

##### ○町独自の新たな教育方針・教育提供内容の打ち出し

- ▶特色ある双葉町教育ビジョンを策定（平成25年11月）

##### ○避難先の学校に通う子どもたちへの支援

- ▶就学援助の根拠となる「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」の延長要望
- ▶中学生の進学相談に関し、双葉中学校と教育委員会による相談窓口の開設
- ▶いわき市南台応急仮設住宅集会所における「ふたばっこ学習会」の継続実施

##### ○つどいの場等の提供

- ▶「集まれふたばっ子」の開催
- ▶「青春の集い」の開催
- ▶南北小学校・中学校のホームページを開設

#### 《ご議論頂きたい内容》

- 子どもの教育環境に関して不安なこと、問題になっていることは何ですか。
- 教育環境の確保に関して、行政に期待すること、行政が必要な取組は何ですか。



## (2) 町民の生活再建への支援として、どのような取組が行政には必要か。

### 4. 雇用の確保、事業再開支援

#### 《これまでの主な取組》

##### ○就職相談・職業訓練等の体制整備

- ▶町ホームページ・広報ふたば等による情報提供
- ▶福島労働局職業安定課の「被災者対象求人一覧表」の紹介
- ▶国・県の雇用対策を活用した、町臨時職員の雇用
- ▶「福島広域雇用促進支援事業」による町役場への支援員の配置、職業訓練、資格取得への支援

##### ○事業再開の支援

- ▶商工会による避難先への定期巡回相談の実施
  - ・県復旧復興支援ガイドブックを利用し各種補助事業の斡旋、事務手続き等指導（県内）
  - ・県外再開事業者へ、避難先自治体の支援メニューを確認。利用可能な支援施策の斡旋、事務手続き等の指導

##### ○営農再開支援

- ▶避難先自治体と連携した、農地確保、補助事業等の情報提供、利用支援

##### ○事業再開した事業者の情報の周知

- ▶商工会の会報による再開事業者の紹介

#### 《ご議論頂きたい内容》

- 雇用や事業再開に向けて不安なこと、問題になっていることは何ですか。
- 雇用の確保や事業再開に関して、行政に期待すること、行政が必要な取組は何ですか。